

あすろ通信☆三

岡山アストロクラブ 会報 第7号

2010年05月

■活動状況報告

活動

▼定例観望会

今年2月～4月までに予定していた定例観望会については、期間中予定3回のうち、2回を実施することができました。しかし、うち1回はほとんど星が見えない失敗観望会でした。

・2010/02/13

場所:岡山県赤磐市是里

参加:会員 13 名、一般 1 名の計 14 名



▲曇りっぱなしの 2/13 観望会

・2010/03/20

天候不順により中止

・2010/04/17

場所:岡山県赤磐市是里

参加:会員 14 名、一般 5 名の計 19 名



▲天の川が綺麗に見えた 4/17 観望会

その他の報告

過去 3 ヶ月 (2010/02～2010/04) の件数等の報告

▼ホームページ

・サイト全体の Page View 16523 PV

※対前四半期 89%

(各月内訳)

・2010/02 4755 PV

・2010/03 6337 PV

・2010/04 5431 PV

▼問い合わせ・入会等

・14 件 ※HP フォームからのもの

▼メーリングリスト利用状況

・572 件

▼会員数

前四半期中に正会員 2 名、準会員 4 名を迎え、2010/04 末時点の会員数は、正会員 17 名、準会員 14 名の合計 31 名となりました。

平成22年度総会概要

平成 22 年 5 月 1 日に定例総会を行いました。以下に、議事結果の概要をお知らせします。

▼会則の変更(要旨)

・今年度から正会員は年間 1000 円の会費をいただくことを明記しました。クラブ会計担当(副会長)まで早めに納めてください。

・退会条件の追加を明記しました。詳細はホームページなどに掲載している会則でご確認ください。

▼平成 22 年度活動予定(概要)

- ・定例観望会を 8 回実施
- ・津高公民館観望会 4 回支援
- ・岡山県立児童会館とのプラネタリウムコラボ観望会を 3 回実施
- ・活動・天体写真展示会を 8 月に実施
- ・合宿観望会を秋頃実施 など

▼新役員の選出

・会長、副会長、運営委員(3 名)を選出しました。任期は 2 年です。

■展示会開催のお知らせ

平成 22 年 8 月 11 日～22 日、岡山県生涯学習センター(交流棟 1 F)にてクラブ活動の展示会を開催します。皆さんのご来場お待ちしております。

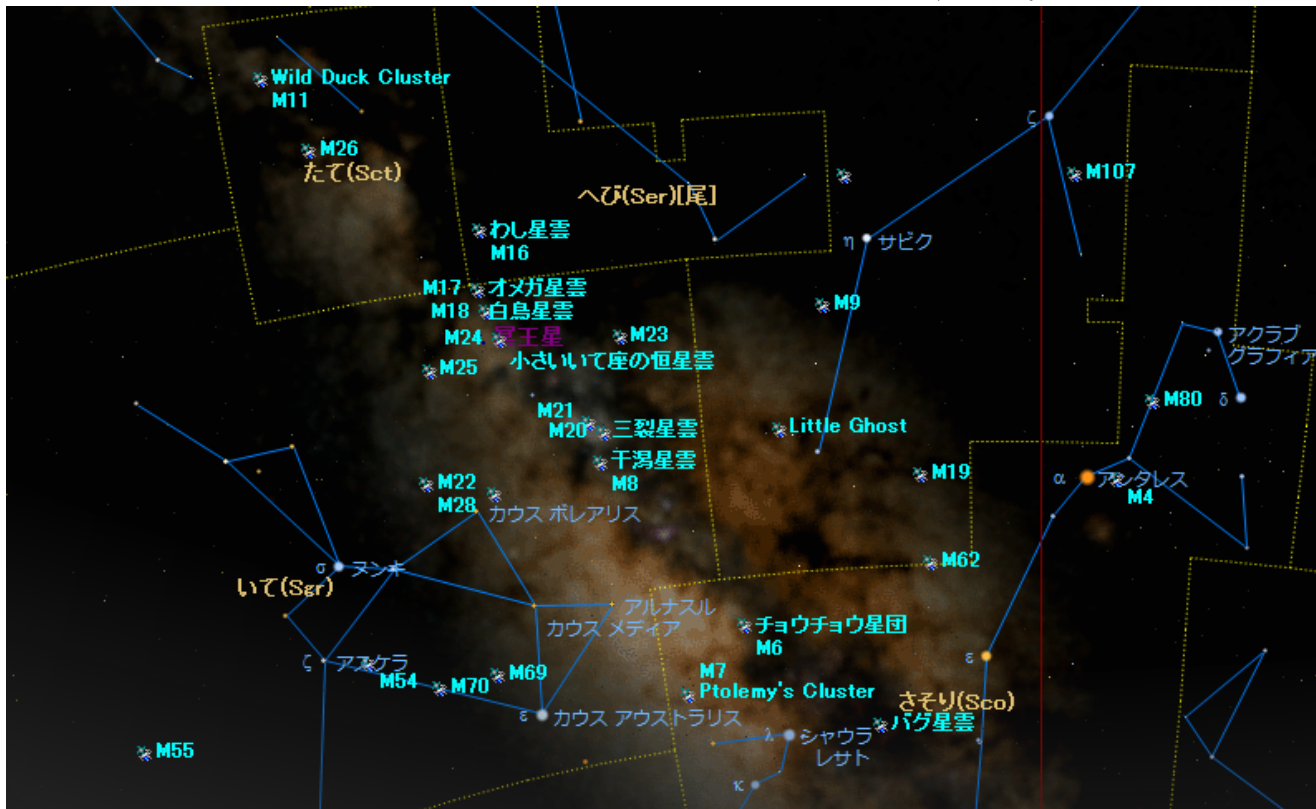


近々の観望会等予定日

5月22日(土)	津高公民館観望会
野谷小学校	月齢 8.4 01:21 入
6月5日(土)	定例観望会
東区瀬戸町	月齢 22.4 00:27 出
7月10日(土)	定例観望会
赤磐市是里	月齢 28.0 17:52 入
7月17日(土)	津高公民館観望会
野谷小学校	月齢 5.7 22:30 入
8月21日(土)	県立児童会館(プラネタリウム)コラボ観望会
県立児童会館	月齢 11.4 16:35 出

※開催場所は変更することがあります

※津高公民館観望会、県立児童会館観望会への参加希望者は、それぞれの施設に事前の申込が必要です



条件がよければ、もしかすると100均の双眼鏡などでも月食特有の赤みをおびた月が観察できるかもしれません。

夕方、家族が揃ったらみんなで宵のお月様を観察してみたいかでしょうか。



(執筆:イノウエシゲル)

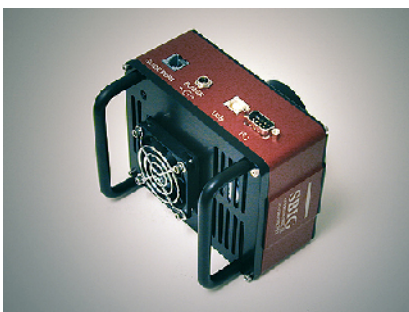
※写真は執筆者撮影。星図はTheSKY6部分月食図はステラナビゲーター8にてそれぞれ作成。

うんちくあれこれ

第7回 ～冷却 CCD SBIG ST8300M ファーストインプレッション～

先日、SBIG ST8300Mでの撮影を始めました。といっても、まだまだテスト撮影の段階ですが、何度かのテストを通してのインプレッションを紹介できたいと思います。

○ 外観



全体の大きさは100×125×50で、かなり小さい感じがします。このST8300はちょうどCANON EOS KISS程度感じです。今まで、CANON 40Dを使っていたが、それよりもやや小さい感じです。重量

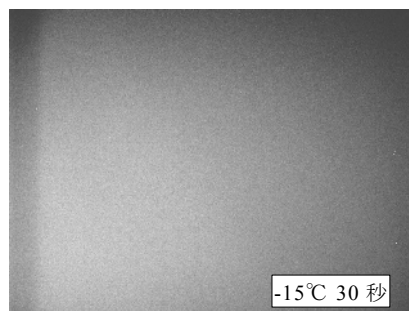
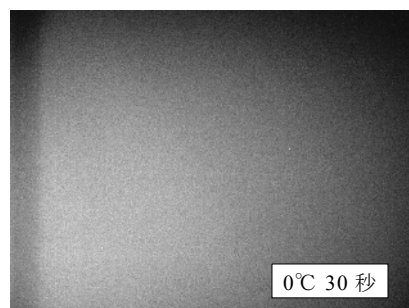
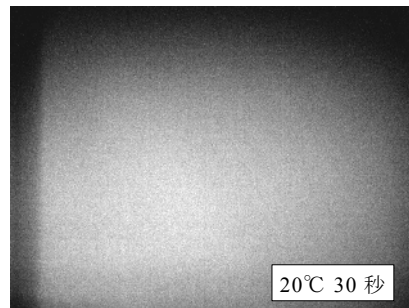
もカタログ公称値で800gということで、ST11000の半分くらいの感じです。このくらい軽量だと、フィルターホイール(カラーの場合は不要ですね。)や、オフアキシスガイドシステム等を組み合わせても、少々しつかりした接眼部だと、補強なしで使用できると思います。(ちなみに私は、オライオンのフィルターホイール、リニアクレイフォードの接眼部で使用していますが、特に不都合はありません。)

色はダークレッドの塗装です。好みの問題ですが、従来のブラック塗装に比べてやや安っぽい感じがするかも・・・(実際、低価格なんですけど・・・笑)

ガイド用のサブチップがない分、外部端子は、USB端子、電源端子、オートガイド端子等のいたってシンプルです。

○ CCD ノイズ状況

SBIGは他社(B社等)に比べてノイズが多いとの話を聞いたことがあります。小生は他社との比較をしたことがないのでなんともいえませんが、確かに常温下でのノイズは多いように思います。

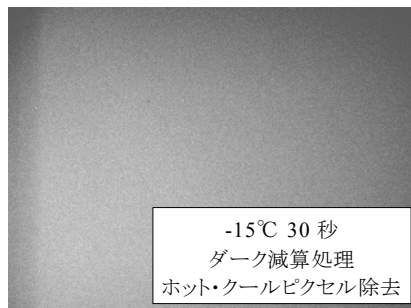


さらに、画像の垂直方向に白い線が入ってきます。最初はCCDに傷でも入っていたかと心配しましたが、SBIGではよくある症状のようで、冷却していけば消えました。

また、それでも残る場合の対処方法についても、WEB上に公開してあります。

http://www.sbig-japan.com/CCDOPSL/C_Row.html

冷却CCDをわざわざ常温で使用する(笑)ことはないですから、問題ないです。



○ 冷却、ノイズ低減

ST8300は空冷システムです。個人的には、水冷システムに比べて操作が簡単というメリットや、後の処理でいくらかカバーできる範囲までの冷却能力を考えれば、実用としては十分ではないかと思います。野外での実地撮影テストでは、-25℃(センサー温度、対外気温比約-40℃)までスムーズに冷却でき、-30℃ではやや厳しいかなというところでしたが、そのまま-25℃で安定して冷却温度を保っていました。この温度でのノイズはかなり低減されています。(冷却CCDなので当たり前かな・・・)この状態からダーク減算処理で、ほぼノイズは気にならないレベルまで低減されています。

○ 撮像イメージ

野外で実際に撮像してみました。ノーフィルターのモノクロ画像です。



M64は黄砂の影響等であり透明度の良くない条件下での撮影です。-15℃ 10分×2枚 ダーク減算処理です。コンポジット枚数が少ないにも関わらずノイズの少ない画質が得られました。

M101は-15℃ 10分×4枚 ダーク減算処理です。



薄雲が通過するなどの条件下ですので、細かいディテールの描写が厳しいですが、短時間露出でもイメージが出ています。

CANON 40D IR フィルター換装
ISO1600, 口径 20cm 1200mm F6 で撮影していましたが, ST8300 口径 20cm 1600mm F8 で撮影した方が高感度のように感じています。(IR フィルター装着とノーフィルターの差が出ているのかも知れません)

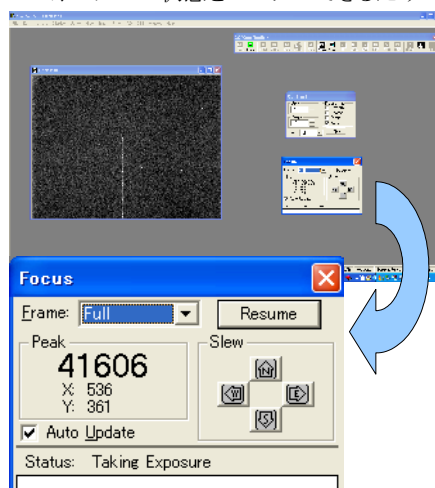
○ CCDops・英語版(アプリケーション)

撮像については, SBIG 純正ソフト・CCDopsを使っています。米国からの直接輸入ですので, 説明書, 表示もすべて英語です。(当たり前ですね。)

片言単語の拾い読み英語力では, 十分理解できているとは言えません。特に難しい部分は翻訳ソフトを使いながらなんとか撮像できました。笑

CCDops のフォーカスモード画面です。

フォーカスの状態をモニターできるだけ



でなく, 星像の明るさを数値で示して, ピーク値からフォーカスチェックができる機能です。

シンチレーションの影響を受けやすいと思いますが, うまく使えばフォーカスチェックに役立ちそうです。

使い始めてから日が浅いため, 本来の性能を十分引き出しているとは言えません。また, これからカラー化に向けての試行錯誤です。いろいろな状況下で使用しながら, 最善の方法を探っていきたいと思います。

(執筆: Mizutani)

※この記事内の写真は全て執筆者撮影

会員紹介

「Gumbo」

岡山アストロクラブ、会員番号 10 番の Gumbo です。会員歴は 1 年と 4 ヶ月で、星との関わりはまだ浅く、星に関する知識はほとんど無い素人です。

現在は主に星の写真を撮って楽しんでおり、その始まりはデジカメで夜景を撮っていた時に意図せず写った星に気がついたことでした。

それは 6 年ほど前の事。当時一眼デジカメを買った私はいろんなところに行っては写真をパシャパシャ。風景写真やらなにやらを手当たり次第に撮影してみた時でした。そんな時期に夜景を撮っていて、撮った写真を液晶画面確認すると、なにやら見たことのある配置の点が空の中に写っています。

それが小学校で習った事のあるオリオン座だということくらいは素人の私にもすぐに分かり、ちょっと感激した覚えがあります。星が写ったことに喜んで、どんどん露出を伸ばしていきながら確認していくと、写る星はどんどん増えていきます。どうも私の目で見えている数よりも星の数は多く写真に写っているようです。

ここで、元来お調子者の私は、調子に乗ってどんどんと露出を伸ばしていったのです。きっと数え切れない数の星が写ってさぞ綺麗なんだろうと妄想をふくらませ、ガンガンと露出を伸ばしていきます。

ところが、露出を伸ばしていくと星が動いて線になっていることに気がつきました。そうです、星は動いていたんです。またまた星は動いているってことを小学校で習ったことを思い出し、小さな大発見に感激したものです。

もっともっとと露出を伸ばせば日周運動を写した綺麗な写真になるのですが、デジカメではノイズがどんどんと多くなって、まともな日周運動の写真など撮れるわけもなく、露出を伸ばせばノイズだらけ、露出が少ないと中途半端に線状になった星が写るというお世辞にも綺麗とは言えない写真ばかり。こうしてすぐに機材の限界にぶち当たりました。

どうにかして本で見たような綺麗な写真が撮れないものか。ネットで調べてみると、どうやら赤道儀ってのを使うと星は点像として写るらしいという事が書いてあり、単純な私は、赤道儀を買いさえすれば満天の星の写真が撮れるのだらうと信じて、GP ガイドパックを買い、それから徐々に星の撮影にのめり込んでいきます。

そんなこんなしているうちに徐々にハマって行き、気がついたら望遠鏡を買い、車で暗いところへ遠征して撮影をするようになっていました。

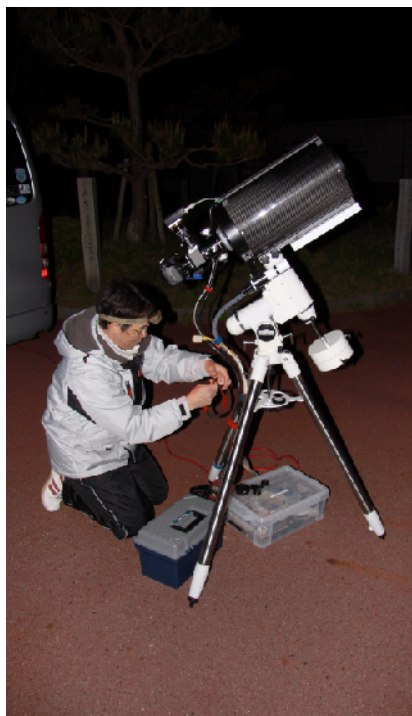
こんな私が岡山アストロクラブに入会したのは、怖かったから(笑)。

星の撮影にのめり込んで行き、星の撮影のために一人で暗いところへ行行って夜を過ごす事が多くなったのですが、これがなかなか怖いものでした。暗闇の向こうに夜行性の動物がいるんじゃないかと、どこかへ拉致されちゃたらどうしようかと…。そんな事を考えながら、心細く撮影をしていた昨年の冬に、岡山アストロクラブの存在を知り、おそろおそろと入会し、現在に至るという訳です。

こんな感じで、岡山アストロクラブに入るまでは、星の知識は全くのド素人。子供の頃に自転車で通った岡山県立児童会館のプラネタリウムで聞いたことも、記憶の賞味期限が切れており、ほとんど残っていませんでしたが、現在皆さんに少しずつ教わりながら記憶を取り戻し、眼視の楽しさも覚えつつあります。

最近のお気に入り星は星空浴。何か特定の対象を見るというよりも撮影中に星空を見上げてぼーっとするのが大好きです。星空浴のヒーリング効果で、日常生活のストレスから解放される時が至福の時ですね。

(執筆:Gumbo)



▲セッティング中の Gumbo 氏(編集人撮影)

■観望地情報

「岩倉公園」

最近、クラブの撮影部隊などが使い出した岩倉公園を紹介します。

岩倉公園は、岡山県加賀郡吉備中央町にあり、20年以上前に整備されたものですが、管理が行き届いたきれいな場所です。この場所は、岡山県の面積重心に当たるため、岡山県のヘソと呼ばれています。

観望や撮影は駐車場で行いますが、園内は広く、駐車場から上段に上がると見晴らしがよいうえ、バリエーションに富んだ地上風景と相まって星景写真撮影も楽しめそうな場所となっています。



▲岩倉公園駐車場

駐車場は普通車が 30 台程度は駐車できるスペースがあり、常用している岡山市東区の瀬戸観望地の 2 倍程度広い印象があります。

駐車場内には清潔で広いトイレがあります。駐車場サイドの道路は展望台へのアクセス道路となっていますが、通り抜けできない道路であるため、夜間の通過車両はほとんどありません。

肝心の空ですが、北側・西側は比較的暗いものの、東南方向から南側全域にかけては、岡山市や倉敷市の市街地方面にあたるため、それほど暗い印象はありません。

園内は、駐車場のほか、一段上がったところに「岡山県の中心」の石碑が鎮座する落ち着いた場所があります。この場所から東南方向にはアストロテージ「ガリレオ」があるストックファームが見えています。



▲広々とした園内

今後はこの場所を使っの定例観望会も予定しています。

・位置情報 (WGS84)

東経 133°48'28" 北緯 34°52'57"

標高 360m

(執筆、撮影 編集人)

発行元

岡山アストロクラブ事務局

発行日

平成22年5月16日

編集

Sirius

記事執筆(順不同)

イノウエシゲル

Mizutani

Gumbo

Sirius

※本会報に使用した写真・絵・文章の著作権は、各執筆者、画像提供者にあります。

【次号予告】

次回発行は平成22年8月に予定

▼掲載記事予定(執筆予定者)

「季節の星空」 Sirius

「うんちくアレコレ」 T#

「会員紹介」 レインボー

※掲載予定記事、執筆予定者は都合により変更することがあります。



クラブ WEB ページ

URL: <http://oac.d2r-cms.jp/>